



第27号

「こどもだより」 「市民のみなさまと議会をつなぐ広報誌」



市民のみなさまと議会をつなぐ広報誌

4月、子どもたちの新たな門出

INDEX

委員会からの報告	P2～6
12議員一般質問に立つ	P7～19
議員のうごき	P22

3月議会

3月1日から22日に
開催された定例会および
2月5日に開催された
臨時会の結果を
お知らせします。

日野菜のPRキャラクター
あなのひのな



予算特別委員会



令和6年度

一般会計当初予算は全委員賛成で可決

3月定例会

～支出は増加、町税は減収見込みで、予算編成は厳しい状況～

一般会計の予算規模は99億3,500万円で、前年度比3億9,100万円（4.1%）の増となりました。一方、町税収入では町民税（法人税割）が大幅な減となり、固定資産税等を含む町税総額は34億8,602万1千円の見込みで、約1億3千万円の減（△3.6%）となり、不足分は地方交付税や地方特例交付金等が当てられます。

新年度は住民の生活を支える基礎的自治体として、希望のある未来へつながるようにとの思いから「時代の変化に対応し、日野の未来を育てる予算」として「5つの政策の柱」に基づき事業が実施されます。

ここでは新規の主な事業について紹介します。

1. 未来を担うひとづくり

○小学校教育振興事業 3,366万4千円

- ・地域教育用副読本「わたしたちの日野」の改訂【新規】329万2千円

○児童健全育成事業 1億3,646万8千円

- ・桜谷地区学童保育所「さくらんぼ」の保育室拡張工事【新規】1,118万9千円

○国民スポーツ大会運営事業 600万円

- ・わたSHIGA輝く国スポ・障スポ日野町実行委員会負担金【新規】600万円



学童保育所「さくらんぼ」の様子

2. 暮らしを支えるしごとづくり

○担い手育成対策事業（農業経営） 909万9千円

- ・地域計画策定支援補助金【新規】250万円（地域計画＝旧「人・農地プラン」の新版）

○農村整備事業（農道・集落道事業） 810万円

- ・日野東部地区広域農道石子山トンネル長寿命化設計委託【新規】810万円

○観光施設整備事業 250万円

- ・旧平和堂日野店跡地へのトイレ整備にかかる設計業務委託【新規】250万円

3. 安心、助け合いのくらしづくり

○在宅高齢者福祉推進支援事業 170万9千円

- ・介護人材確保対策事業補助金【新規】50万円（町内の介護サービス事業所）

4. 住みたくなる都市基盤づくり

○バス等運行事業 1億223万1千円

- ・A I オンデマンド交通運行【新規】1,842万2千円
（令和6年10月から始まるA I オンデマンド交通「チョイソコひの」の運行委託）

○都市計画総務事務事業 616万1千円

- ・日野町空家等除却事業補助金【新規】160万円（特定空家や危険空家の除却工事への補助）

○公園管理運営事業 1億5,855万1千円

- ・大谷公園テニスコートおよび照明改修・外灯改修工事、プール解体工事【新規】1億100万円
- ・大谷公園野球場・グラウンド照明改修工事設計業務委託等【新規】759万5千円



「チョイソコひの」実証実験

5. みんなではぐくむ地域づくり

○デジタル田園都市国家構想交付金事業 1億991万2千円

- ・古地図の電子化【新規】782万8千円
（町内周遊・魅力再発見等のための古地図のオープンデータ化）



老朽化した大谷公園プール

質疑応答の中から抜粋

- Q. デジタル田園都市国家構想交付金事業のうち就農体験ツアーについて、事業内容と町の農業にどのような効果があるのか。
- A. 就農体験ツアーは、町外就農希望者を対象に、町の食と農業の魅力を伝え、町内農家で体験いただく内容となっており、令和4年度から取り組んでいる。令和4年度は、日帰りツアーを1回開催し8名参加、令和5年度は日帰りツアーを1回で8名参加、1泊2日のツアーは2回開催し、8名と7名の参加をいただいた。農業の担い手不足が課題となっており、町外から就農に来ていただくことで担い手確保につながればと考えている。
- Q. 農家民泊の受け入れ状況はどうか。また、石子山トンネルの改修はどのようなものか。
- A. 一般社団法人近江日野交流ネットワークによる農家民泊の受け入れについて、令和4年度はコロナ禍のため日帰りのみの対応で145名を、令和5年度は宿泊受け入れを再開し676名を受け入れた。令和6年度は約900名を受け入れの予定であり、徐々に回復の状況である。また、日野東部地区広域農道石子山トンネルの改修については、照明のLED化等を行うもの。
- Q. スポーツ振興事業について。スケートボード場の整備はどうなっているか。
- A. スケートボード場については署名活動もいただき多くの要望がある。大谷公園やわたむきホール虹などを含めて議論している。またスポーツとして整備するのか、居場所として整備するのか、さらに料金をどうするかなど、今後議論が必要。

討論と採決

3月11日から3日間にわたり予算特別委員会を開催し、令和5年度日野町一般会計補正予算（第8号）ならびに令和6年度日野町一般会計予算の2議案の審査を終えました。担当課からていねいな予算説明が行われ、各委員からはその説明に対し質問や意見が数多く出されました。

3日目の終盤では、提案された2議案について討論と採決を行い、2議案とも討論はなく、つづいて採決の結果、全委員賛成により原案どおり可決すべきものと決しました。

令和5年度 一般会計補正予算(第8号) 全委員賛成で可決



補正の規模は2億4,102万6千円の増で、予算総額は歳入歳出それぞれ107億5,936万8千円となりました。補正の多くは年度末による各事業の経費の精算（減額）ですが、これを除く主な補正は次のとおりです。

路線バス対策事業	161万3千円	子育て未来基金積立金	5,300万円
情報システム整備基金積立金	6,000万円	児童福祉事務事業	212万1千円
戸籍住民基本台帳事務事業	229万8千円	障害者総合支援事業	1,026万6千円
交通安全対策事業（通学路緊急対策）	2,517万6千円		

質疑応答の中から抜粋

- Q. 子育て未来基金積立金について、こども園を建てるのに数億円必要と思うが、さらに積み立てる必要があるのではないか。
- A. 令和3年度に幼稚園、保育園、こども園の整備等に必要となる費用を試算したところ17億円となり、その1割にあたる1億7千万円を積み立て、今回も5,300万円上乗せした。
- Q. 婚活支援事業について、3月に2つの事業を実施したと聞くがどのような内容であったか。
- A. 2つの事業のうち、必佐地区の事業では男性10人、女性6人が参加。南比都佐地区の事業では男性11人、女性8人が参加され、7組のカップルが成立したと聞いている。

なお、ほかに令和5年度一般会計補正予算(第9号)は、補正の規模は953万円の増、また令和6年度一般会計補正予算(第1号)は、補正の規模は950万円の増とともに全委員賛成で可決すべきものと決しました。



議会改革特別委員会

～調査研究実践改善「前進する議会」～

議会内PT（プロジェクトチーム）の進捗報告

●閉会中にも調査研究を継続する

1. ICTチーム（後藤、中西、柚木）

目的：デジタル活用により議会力向上と効率化を図る

調査・研究

○主な導入メリット・・・

資料をデジタル化し蓄積、検索ができる。あらゆる情報の素早い共有を容易にする

⇒業務の効率化と働き方改革に寄与する

・3月4日タブレット端末デモンストレーションを実施



タブレット端末デモンストレーション

○今後期待できる副次的な効果・・・

情報公開を前提とした資料づくり。また、災害時などの迅速な緊急対応

○NextAction・・・導入費用試算、総務課との協議継続

2. 広報広聴チーム（野矢、谷口、福永）

目的：住民の意見を収集し政策へ反映しやすくする

調査・研究

○議員PRコーナーの設置・・・

図書館12月1日～24日、各公民館（3週間ずつ）

（必佐公民館3月1日～、日野公民館3月23日～

西大路公民館4月13日～、鎌掛公民館5月7日～

南比都佐公民館5月25日～、西桜谷公民館6月15日～

東桜谷公民館7月6日～）



議会PRコーナー(図書館)

○日野町議会出前懇談会制度の整備・・・

議会へ直接ご意見を届けやすくするため、議会出前懇談会制度を設けました。

詳細は19ページ（下段）をご覧ください。

○NextAction・・・議会モニター制度の検討

3. 待遇改善チーム（川東、西澤、松田）

目的：議員活動と暮らしを両立できる待遇を目指す

調査・研究

○現状把握・・・全国町村議会議長会の調査結果「議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手引き」参照（※web検索によりご覧いただけます）

○論点の整理・・・政務活動費は研究対象から外し参考材料にとどめることとする

○NextAction・・・日野町と類似規模などの先進地調査研究を継続（視察もあり）

4. 通年議会チーム（山本、加藤、高橋）

目的：緊急時でも迅速に対応できる議会の体制を整備する

調査・研究

○現状把握・・・全国他市町の状況確認

○NextAction・・・メリットデメリットの整理、議員への意見聴取、総務課との協議

総務常任委員会

日野町の災害時の対応について能登半島地震から学ぶ

付託議案

- 議第11号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議第12号 日野町行政手続条例および日野町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第13号 日野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第14号 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

Q. 日野町学校・子ども支援連絡協議会(以下、甲)および、日野町学校・子どもいじめ問題対策委員会(以下、乙)の定数に対して就任されている人数は？日野町いじめ問題調査委員会(以下、丙)は常設されているのか、調査対象の事象が発生した時に召集されるのか？

A. 甲は定員8人以内で8人、乙は、定員5人以内で5人就任しています。乙では、重大な事態が発生した時に調査を行い、更に調査が必要と判断された場合は、町長部局に設置された丙に内容を報告し、再調査を行うことができることとなっています。

- 議第33号 令和6年度日野町西山財産区会計予算について

付託議案の採決

- 議第11号～議第14号 ●議第33号 全委員賛成で可決すべきものと決しました。



調査・研究

日野町の災害時の対応(風水害、地震、日頃からの備え、能登半島地震対応)について 意見交換

産業建設常任委員会

大谷公園野球場本部席に冷暖房設備を設置、新たに時間100円の使用料

付託議案

- 議第15号 日野町使用料条例の一部を改正する条例の制定について
大谷公園野球場の改修に伴い本部席に冷暖房設備を設置、その使用料を定めるための条例改正。
- 議第20号 日野町営住宅の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律の制定公布に伴う条例改正。関連条文の変更から条例の一部を改めるもの。
- 議第28号 令和5年度日野町下水道事業会計補正予算(第3号)
- 議第35号 令和6年度日野町下水道事業会計予算

付託議案の質疑と討論・採決

議第15号では、使用料額の制定根拠などが問われました。議第20号では、町営住宅の役割や入居条件に関わって、また、本改正に関わるような事例が当町でもあるのか、などが問われました。

議第28号では会計統合による差異や課題が、議第35号では雨水排水整備の令和6年度計画、農業集落排水と公共下水道の統合計画、工業団地での公共下水道利用推進活動などが問われました。

- 4議案とも反対討論はなく、一括採決を行い、全委員賛成で可決すべきものと決しました。



厚生常任委員会

介護保険料改正と水道料金値下げ

付託議案

当委員会に付託された議案は、条例の一部改正 6 件、特別会計の令和 5 年度補正予算 4 件、令和 6 年度当初予算 4 件の 14 件です。特に、次の 2 件の概要は次のとおりです

●議第17号 日野町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

令和 6 年度から新たに始まる「第 9 期日野町高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和 6～8 年度）」の策定に伴い介護保険料に関する部分等が次のとおり改正されました。

- ・介護保険料の基準額は 6,200 円/月（74,400 円/年）で据え置きとなります。
- ・保険料の所得段階は 12 段階から 15 段階へ変更となり、本人が住民税課税で合計所得金額 320 万円以上の区分が 4 段階から 7 段階へと細かく区分されました。

●議第21号 日野町上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

1 か月あたりの基本料金は口径 13mm の場合は 350 円、口径 20mm の場合は 700 円の値下げになります。

※甲賀市水道事業の南比都佐地区および工場など 25mm 以上の口径のものは対象外となります

Q. 5 年ごとに水道料金を再検討するのか。

A. 災害や管路更新、人口減少などの要因をふまえ、バランスを見る必要があります。

Q. 将来世代に負担を先送りしていないか。

A. 10 年後において万が一 1 年間収入がなくても耐えられる財政計画です。

付託議案の採決

14 件の付託案件はすべて反対討論なく採決→全委員賛成で可決すべきものと決しました。



空家対策特別委員会

令和6年度における日野町の空家対策指針

危険空家対応について	空家バンクについて
空家全数調査の実施	物件登録の推進 (現在、利用希望者登録 100 件に対して物件登録数 2 件)
空家実態調査の実施	会計年度任用職員の増員(現状 1 名→2 名体制へ)
危険空家に対する適正な管理を促す通知	全町区長会での情報提供依頼
空家等除却支援事業補助金制度の創設	「広報ひの」での案内、出前講座
除却促進セミナーの実施	固定資産情報をもとにした空家所有者への働きかけ
	空家実態調査に基づく、活用可能物件所有者への働きかけ

管理不全の空家に対する緊急安全措置条例(仮)制定に向けて

台風や災害時において、管理不全の建築物などが、近隣住宅や施設、道路などに対して倒壊や損壊による被害を及ぼす可能性がある場合であっても、現行法の、いわゆる緊急安全措置は空家法には盛り込まれていないため、近江八幡市、高島市等の先進事例を参考に、当町においても条例制定を目指し、6 月定例会までに草案を作成する。

令和6年3月 一般質問内容および発言順序

町政全般に関する方針や事業について、
12人の議員が一般質問を行いました。

発言順序・氏名	質 問 内 容	ページ
1 谷口 ともや 智哉	1 日野町役場の働き方改革は進んでいるか 2 日野町立図書館は何のためにあるのか？	P. 8
2 高橋 げんざぶろう 源三郎	1 集中力と瞬発力を鍛える「こどもかるた会」の推進を 2 少子化対策として若い人たちの同窓会に補助金を	P. 9
3 西澤 まさはる 正治	1 少子高齢化による字内役員の選出難題について	P.19
4 福永 あきひと 晃仁	1 「出会いの場の創出」少子化と20年先を見据えて 2 学童保育の今、そしてこれから	P.10
5 川東 あき お 昭男	1 日野町スポーツ協会の提案書に対する町の対応について	P.11
6 山本 ひで き 秀喜	① 「日野町の少子化、人口減少対策」は待った無しだが？ 2 「わたむき自動車プロジェクト」通勤バス実証実験の今年度見送りと町営バスの運行について ③ 「子育てにやさしい町、こどもまんなかの日野町に」第2弾	P.12
7 中西 けい こ 佳子	1 女性の視点を生かした防災対策を 2 大谷公園の施設整備や機能強化について	P.13
8 松田 よう こ 洋子	1 介護・障害福祉・保育所での人手不足について 2 大規模な自然災害に対する町の支援体制について	P.14
9 柚木 き く お 記久雄	1 わたむき自動車プロジェクト「チョイソコひの」について 2 綿向山に急増する冬季の登山者駐車場について	P.15
10 野矢 たかゆき 貴之	1 日野町社会教育における課題は？ 2 自己実現のために行政には何ができる？	P.16
11 加藤 かずゆき 和幸	1 わたむき自動車プロジェクト(その7)通勤バス実証実験の中止をどう総括するか 2 教員の長時間労働と教員不足をどうするか	P.17
12 後藤 ゆう き 勇樹	1 町総合計画と町長のマニフェストから見る新年度予算編成 2 名神名阪連絡道路計画の課題と見通しを問う	P.18

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、
スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。
本会議の様様をインターネットで配信しています。

(ライブ中継・録画中継)

一般質問において議員が使用した資料をインターネットでご覧いただけます。



上の二次元コードを読み取ると
一般質問の録画が視聴できます。



問 日野町役場の働き方改革は進んでいるか

答 まだ効果が出ておらず道半ば



谷口 智哉 議員



問

日野町役場は住民福祉の担い手として重要な役割を果たしています。

また、多くの職員を雇用している「職場」としても町民や企業の手本とならなければならない存在だと思っています。

以上のことから私は、日野町役場は町内のどの企業よりも先進的に「働き方改革」について取り組む必要があると考えています。そこで

①夜9時・10時まで役場に明かりがついている状態は、職員のやりがいや組織パフォーマンスの向上、多様なワークライフバランスの実現ができていますか。

②「働き方・業務改革推進本部」は現在までのような動きをしてきましたか。

答

①昨年8月に「働き方・業務改善推進本部」を立ち上げ働き方の改善に向けて歩み始めたところで、まだ効果

が出ておらず道半ばといった状況です。

②ワークスタイル部会ではテーマを「業務効率化により時間を生み出し、更なる住民サービスの向上と成長をし続ける組織を目指す」とし、さらに目標として「時間、人、お金の無駄をなくす」「多様な働き方ができる組織風土を作る」「生き生きと働く（やりがいを感じて働く）職員を増やす」を柱に、職員の働き方に関する意識や考え方を確認するためのアンケートを実施しています。

業務改善部会では、オンラインで他市町との意見交換をして情報収集に努め、また、各職場を巡回し職員ワークショップを実施し、多くの意見を聴取し、その中からいくつかの業務改善内容に優先順位をつけ、より多くの職員に共通した業務の改善案や改善に向けた課題の検討と、比較的短期間で完結できるものに着手する予定です。

問

日野町立図書館は何のためにあるのか？

答 地域コミュニティの基盤を作るため

問

①日野町立図書館は何のためにありますか。

②どうあるべきだと考えていますか。

③現在の図書館はどうですか。

④図書館のトップに立つ方の考え方や行動力は大事だと思いますか。

⑤図書館長に求めるものは何ですか。

⑥図書館長は今までのように行動してきましたか。

答

①大きくは2点あり、1点目は、予測

困難な時代に町民のより良い暮らしを実現するため、時代の変化に対応した知識や情報をだれもが利用できるような提供すること。2点目は、誰もが気兼ねなく集まれる場所である図書館の特徴を生かして、多様な人々が学びあう機会を提供し、地域

コミュニティの基盤を作ることです。

②子どもから大人まで町民の誰もが集い、交流し学べる施設となっており、また、町民の芸術文化活動等の発表の場にもなり、町の活性化に役立っていると考えています。

③組織のあるべき姿を実現するためには、組織目標を全員が共有し、実現のための具体的な方策を定めていかなければなりません。そのためには、組織の長の経営戦略、リーダーシップが重要だと思っています。

④地域の課題や社会状況を的確につかみ、地域において図書館に求められる役割を実現するため、組織マネジメントや、様々な方々との関係づくりを構築する行動力と考えます。

⑤情報と人、人と人を繋げ、また町民の主体的な活動、創造的な活動に図書館を使っていただけ

よう、様々な事業で図書館がまっちりに寄与できるように行動してきました。「ウィキペディアタウン（みんなで街を歩き、図書館の資料を活用しウィキペディアに記事を作成する）」は、住民同士の学びあいと創造的活動を示す一つの事例と考えています。さらに今年度から始めた「こども・若者の居場所づくり」は図書館の可能性を広げるものとして他にない取り組みです。

今後も町民の期待に応えられるよう、町民の方々の可能性を引き出す図書館、暮らしやすい地域を作る図書館として評価していただけるよう努力したいと思っています。

問 集中力と瞬発力を鍛える「こどもかるた会」の推進を

答 かるたは日本の文化であり、必要なことと考えている



たかはし げんざぶろう
高橋 源三郎 議員



問

日野町子ども会
指導者連絡協議会

よる小学生を対象とした町のかかるた会（小倉百人一首）が、毎年1月に日野公民館で、個人戦と団体戦に分けて行われています。各公民館単位の予選を勝ち抜いてきた子どもたちの対戦競技は、大人が傍で見ている目を見張るものがあります。

一方同じ時期に、大津市にある近江神宮では、同じく小倉百人一首による「競技かるた大会」が毎年行われており、ここで日本一を決める「名人位」と「ライオン位」の決定戦はじめ「滋賀県小中学生競技かるた大会」も行われています。正月を機縁として、かるたを使って子どもたちの集中力や瞬発力を鍛えることは、非常に大事なことだと考えています。

各公民館での競技に勝った個人や団体は町の大会に出場することになりますが、今年度は町のか

るた会は見送られたとのこと、非常に残念です。

どうかわが町の子もたちにも町の大会や県の大大会への道を開いてあげ、かるたをとおして大きな夢の持てる行事にしてほしいと思います。教育委員会の考えをお尋ねします。



▶第9号の表紙を飾った団体決勝戦の様子

答

コロナ禍の影響で練習ができなかったことや、少子化により単位でチームが組めなくなったこと等の要因で年々チームが減少し、今年度の町の大会は、毎年協力をいただいている日野三笠会や地区公民館と協議をした結果、見送ることとなった。しかし、小倉百人一首は日本の文

化であり、これを楽しむことは必要なことと考えている。

必佐公民館では「かるた教室」を月一回開催し、4年生の国語科でも学習を行い、異年齢集団によるかるた大会を展開している。また、日野町文化協会の協力を得て3月から「日野かるた教室」を開講し参加を呼びかけていく。

問 少子化対策として若い人たちの同窓会に補助金を

答 補助金制度の創設にあたっては今後研究していく

問

先日、テレビニュ

ースを見ていた時、地元で行われる同窓会に「補助金を出している市町が紹介されていました。私は一瞬、本当かな？」と思ったのですが、テレビの画面をよく見ると滋賀県内でも甲賀市が10万円を上限として同窓会に補助金を出していることが分かりました。

この同窓会は、独身者の

多い若い人たちの同窓会を指しているのですが、ニュースキャスターの説明でも、同窓会によってふるさとへリターンした時に、同窓生との会話の中で共通の思い出があるため話がよく弾み、ここで結婚して暮らしそうと思う可能性があるとのこと。そして地元で子どもを産み育てることにつながるということで、同窓会が市町の少子化対策の問題解決に一役を担うことにつながるからです。

私としては10万円が適当かどうかは分かりませんが、しかし同窓会を全くしないよりは年に一回でも行えば、懐かしい思い出に話が盛り上がり、ここで暮らし始めても良い、結婚してもよいと思う者が一組でも二組でも誕生してくれば、この補

助金は本当の意味で生きてくると思います。

日野町においてもこうした新たな視点での発想をもとに、この問題について調査・研究を重ね、例えば中学校時代の同窓会に対して補助金を出し、町の少子化対策の一環として取り組まれてはどうかと思いますが、町の考えを伺います。

答

同窓会については、卒業後における参加者間の情報交換を促し、親睦を深め、ふるさととのつながりを再認識する機会として定住意識を育むとともに、Uターンの促進や関係人口の増加等に繋がり、一定の効果が期待できるものと考えている。

この補助金制度の創設にあたっては今後研究していきたいと考えている。

問「出会いの場の創出」 少子化と20年先を見据えて

答 新たな切り口から少子化対策への取り組みを進めます



ふくなが あきひと
福永 晃仁 議員



問

国内全体で叫ばれている少子高齢化の加速。子どもの存在は社会の宝であるとともに未来を創る担い手であり、少子化が進むと国内の労働力低下や規模の恩恵を受けている社会保障の維持にも大きな影響を与えます。SRHR（セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ：性と生殖に関する健康と権利）は守られるべきものであり、個人の生き方を他者が決めることはできないということも踏まえて、20年先の未来を生きて子どもたちの姿を創造し、少子化対策、未婚者の増加に対してマインドセット（人間が持つそれぞれの無意識の思考・行動パターン・固定観念や思い込み・物事を捉える時の思考の癖）の転換を促す施策の必要性を強く感じています。そのうえで

①当町が捉える子育て支援と少子化対策の必要性・連動性は。

②出会いの創出・婚活事業の実績と評価は。

③未婚者の増加に対してマインドセットの転換を促す施策とこれからは。

答

①未婚・晩婚化の進展と出生率低下の背景には個々人の結婚や出産、子育てへの希望の実現を阻む多様な要因があり、少子化対策の一つとして子育て支援についても連動性があるものと考えています。

②平成23年度から日野町婚活プロジェクトクラブ キュピドンを実施。県が開設した、しがめぐりあいサポートセンター「しが結」への参画、近隣市町との連携などに取り組んでいます。

③個人の意思を尊重しつつ、地域活動等を通じての出会いの場の創出。様々な施策においての機会づくり、若い世代が理想とする子育て環境の整備を通じて未婚化の緩和に取り組んでいきます。

問

学童保育の今、そしてこれから

答 地域と連携し、子どもたちの安心安全の確保に努めます

問

1985年わらべ共同保育所内で始まった日野町の学童保育の歴史。公設民営の方式を取り、運営法人は長年地域に根差した取り組みをされてきました。当町において令和6年度は「第2期子ども・子育て支援事業計画」の最終年であり、今後の中期的な見通しを立てる重要な1年となります。幼児教育保育の分野で国が創設を目指す「こども誰でも通園制度」と同様の制度設計への懸念。「小学校40分の午前中5時間授業」への変革と影響。すぐそこに迫る「労働供給制約社会」の実態など、学童保育のニーズの高まりと急激な社会情勢の変化に対応出来るよう、法人と連携し国・県の動向を踏まえた施策の整備、充実を進めていく必要があると考えます。

①学童保育について、現時点での国や県の施策をどのように捉えているか。

②当町が公設民営の方式を取る理由とねらいは。

③これからの学童保育を取り巻く課題と地域の中における役割、発展性は。

答

①新放課後子ども安心プランを柱とした待機児童の解消のための新たな受け皿の整備、すべての小学校区で学童保育所を一体的または連携して実施すること。県においては教育委員会と福祉部局の連携方策や学童保育所の実施方針、人材確保および質の向上への取り組み。町においては国・県の施策を踏まえて学校・学童保育所・地域が連携し、子どもや保護者が安心して生活できる取り組みが必要と認識しています。

②時代のニーズを的確に

捉えて、町連協一括運営として町内同一保育・同一保育料の実現をされてきた経緯。長い歳月をかけて培われてきた地域に根付いた学童保育事業の良さやノウハウを十分に活かせる民間での運営が最善であると考え、施設整備面については町が対応する形で現在に至ります。

③次年度以降の利用ニーズを踏まえて令和6年度においては学童保育所さくらんぼの拡張工事を予定。指導員確保や質の向上、中期的な施設整備を踏まえて、地域の重要なコミュニティの拠点となる学童保育の充実に努めます。



問 日野町スポーツ協会の提案書に対する町の対応について

答 「生涯学習課と建設計画課が更に連携し、改善を図る」
「様々な方にも利用していただける公園となるよう改善をめざす」



かわひがし あき お
川東 昭男 議員



問

去る1月29日

「日野町スポーツ協会と日野町議会総務常任委員会との意見交換会が行われました。」

スポーツ協会は、令和3年11月に『日野町のスポーツ振興に関する提案書』を町長と教育長に提出されました。提案書は、(1)ランニング・ウォーキングコースの整備について(2)大谷公園の施設整備・機能強化について(3)プールのあり方について(4)スポーツ施設等の芝生化について(5)その他の提案として(スポーツ情報発信について・スポーツ団体の支援について・レスリングを町のシンボルスポーツに・近隣市町のスポーツ施設との連携について)として、大きく5つの内容から構成されています。いずれも現状と課題を明らかにされ、改善策と効果を提案されています。

また、大谷公園の施設改修や運営についても各委員から意見が出されました。そこで、質問します。

1.『日野町スポーツ振興に関する提案書』について

①この提案書に対する回答について、どのように取り扱われたのか。回答書はあるのか。

②この提案書を今後どのように活かすのか。

③町はスポーツ協会の思いをどのように受け止め、応えるのか。

2.大谷公園の施設改修や管理運営について

①大谷公園の施設改修や運営について、不満が蓄積しているように思います。スポーツ担当の生涯学習課と施設管理担当の建設計画課が連携して対応していると思いますが、それぞれの考えを伺います。

②提案書の、とりわけ以下の点について生の声を伺いました。

・「大谷公園に芝と遊具があったらよいのに」

・「プールの跡地利用はどうなるのか」

・「夜間のウォーキングは



国スポで軟式野球会場となる大谷公園野球場

危険ない。電気が少しついたがまだ暗い」

・「体育館のジムを充実して、楽しい場となるようにしてほしい」

・「近隣施設のプール利用に割引制度を設けてほしい」

これらの点について、町の考えを伺います。

③今後、大谷公園をスポーツの拠点として、また公園が持つ機能をより有効に活用するためにも、子育て世代の遊び場や高齢者等の散歩の場など、気軽に利用できる施設として位置づけ運営できないものか伺います。

3.「わたS H I G A 輝く国スポ・障スポ2025」に向けた機運の醸成につ

いての取り組みについて伺います。

答

1. ①②③について大変貴重な提言をいただき、町のスポーツ振興に向けて「出来ることから始めていく。」

2. ①大谷公園の施設改修や運営について、両課がさらに連携し、改善に努める。

②「芝と遊具」については、プールの跡地整備で検討する。「外灯」については、現在進めている施設改修に合わせて少しずつだが改善に努める。「体育館ジム」については、順次、更新し充実に努める。「近隣市のプール割引制度」については、創設できないか議論を始める。

③様々な方にも気軽に利用できる公園として、スポーツ協会の提案やプールの跡地利用も含め検討する。

3. 国スポ・障スポについては「役場に実施本部」を設置。3月中を目途に町

◆質問を終えて

町民のスポーツ振興に思いを込めたせっかくの『提案書』が、置き去りにされているようになりません。「スポーツ担当」の生涯学習課と「大谷公園の管理担当」である建設計画課が、課題を共有し、連携して取り組んでいるのか。

要望や批判がある中、町民の思いに込めるためにきちんとこの『提案書』と向き合い、担当する関係課の奮闘を期待したいと思います。

町長答弁の「大谷公園を様々な方にも気軽に利用できる公園に」教育長答弁の「出来ることから始めたい」について大いに期待するものだと思います。

いよいよ来年9月には「国スポ・障スポ」が開催されます。町民みんなで盛り上げていきましょう。

問 女性の視点を生かした防災対策を

答 能登半島地震で職員派遣で得た知識を防災対策に活かす



なかにし けい こ
中西 佳子 議員



問

近年、台風や豪雨災害、地震災害など多く発生し、いつどこで起こるかわからない災害への対応が課題となっている。こうした中、女性の視点を生かした避難所運営が求められている。内閣府の災害対応力を強化する女性の視点、男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインでは、平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤となる等、七つの基本方針が示されている。防災対策を伺う。

①内閣府の調査によると、防災会議の女性委員の割合が10%以上の自治体では、乳児用品や介護用品を備蓄している割合が高くなっている。町の女性委員の割合は、
②町の備蓄品について、食料や生活必需品等を備蓄されているが、食物アレルギーに対応した備蓄品の状況は。又、水不足の中ですぐに使える液体ミルクを備蓄するべきだと

考えるがどうか。

答

①現在19人の委員
中女性委員は1人
で5.3%である。



液体ミルク

②アレルギー品目に指定される特定原材料等28品目が含まれないアルファ米を備えている。液体ミルク備蓄については、発災直後でも直ちに飲むことが可能なため発注した。
③AEDケースに三角布配備は、応急手当にも役立つことに加え、AED使用時には、肌を隠すなど女性への配慮から、大

問 大谷公園の施設整備や機能強化について

答 プールの跡地利用の中で、検討していきたい

問

総合計画では、スポーツ活動の充実として、心身の健康や体力の保持増進が図られるよう、年齢や性別、障がいの有無を問わず「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツ活動に取り組める機会の充実に努めるとしている。町を代表するスポーツ施設大谷公園は近年、利用者が減少傾向になっている。住民が集い、スポーツに親しむことが出来、幼児から高齢者、誰もが利用できる施設となるようお願い伺う。

答

①利用者の負担を軽減し、快適に利用していただけるよう改善は必要。それぞれ課題があり、利用者全体の負担軽減に繋げられるよう、他市町の状況等研究していきたい。

①利用者ニーズに合わせていくためには、運営にも改善が必要。例えばグラウンドゴルフなどの利用者からは年払いなどの制度はできないか。備品借用の期間がかかるなど声があるが、利用者ニーズにあわせた取り組みは。
②公園という機能を強化して、小さな子どもや子育て世代が過ごせる場所の整備が必要と考える。町の考えは。

②敷地内の多くが既に運動施設となっているが、より多くの住民の方に利用いただけるようプールの跡地利用の中で、検討していきたい。

事なことと認識している。今後、防災訓練等において、女性への配慮の周知に努めるとともに、AEDを設置する全ての公共施設へ使用方法等のリーフレットと三角巾配備は検討したい。



問 介護・障害福祉・保育所での人手不足について

答 介護関係では「介護人材確保対策事業補助金」を、保育関係では「保育士等奨学金返還支援事業補助金」を当初予算に計上する



まつだ ようこ
松田 洋子 議員



問

政府が「介護事業経営実態調査」

で訪問介護の利益率が、全介護サービス平均を上回ったことを理由に介護報酬の引き下げを打ち出してきた。これに対し関係者は、地域1件ずつ回る従来型の事業所と、併設型事業所と一緒に考えるのはおかしい。それに對して厚労省は、基本報酬を引き下げても、処遇改善加算率を引き上げたので「プラス改定だ」と言っている。障害福祉部門では、医療的ケア者の生活介護と放課後デイを受け入れる事業所をすると医療的ケア者を受け入れるためには、看護師を置いてしっかりと体制構築が不可欠ですが、看護師分の人件費を出すのは程遠い加算額だと。保育所では各公立保育園の園長先生は、人手不足のため休憩時間に事務・保育準備をしていることが多い。会計年度任用職員の方々に正規職員と同じ

ように、クラス責任者をしている園もあると言っていた。

①町内で働く介護・障害福祉・保育関係の労働条件に関する実態把握の有無について伺う。

②町として介護・障害福祉・保育関係の人手不足の解決に向けて、具体的に検討されている内容を伺う。

答

①町内の企業に対し、郵送による景況調査を実施。従業員の確保や人件費の増加などが経営上の課題になっていることは把握している。保育現場の現状は、人材不足や現場での多様な支援、事務量の増大等により、保育士が心身の疲労を感じていないか、悩みや要望を直接保育士本人から声を聴き、丁寧な対応を心がけている。

②介護分野では、令和6年度新規事業として、介護サービスの従事する者の人材確保、定着や促進・

問 大規模災害に対する町の支援体制について

答

2,200人1日分の食糧・水の確保、災害時応援協定を締結した民間業者からの簡易的な空調設備を提供

問

①町では災害時の食料備蓄を何日分どこで保管しているか。

②各避難所でのマニュアルはあるか。

③町の長期滞在する避難

所に簡易的な空調設備の設置は検討しているか伺う。

④大規模地震が発生した場合、原発が破損して放射能が大気中に拡散する可能性は極めて高いと考える。そこで日野町でもヨウ素剤の配布を考えているか伺う。

答

①県が実施した南海トラフ巨大地震が発生した場合の地震被害想定の結果をもとに、約2,200人の1日分の食糧・水の確保に努めています。保管場所につきましては、防災センター1階の倉庫に保管している。

②平成27年4月に策定、令和3年2月に改訂した冊子を備えている。能登半島地震の支援に派遣された職員の意見を参考に



④日野町に最も近い原子力発電所から当町迄74kmの距離があり、有事の際は、自宅等への屋内退避を呼びかける区域と判断される。ヨウ素剤の保存方法は国のガイドラインで、直射日光や高温多湿を避けること、子どもが誤飲しないように補完するとなっている。配布については、効果的な配布方法を研究する。

問 わたむき自動車プロジェクト「チョイソコひの」について

答 夜間・休日運行はエリア拡大を図ってから検討



ゆの き きく お 議員
柚木 記久雄



問

私の地域の60代の方々は、車の運転をされることから昼間の利用は少ないものの町内の飲食店を夕方利用する時の帰りに使ってみたいとの声があります。また、土曜日に開院している医療機関への利用ニーズも多くあり、チョイソコを運営する他の自治体でも、土曜運行は多くあります。

答

チョイソコひのについて質問をいただきました。

①運行時間の延長や土曜日運行の検討については実証実験の実施地区の皆さんへのアンケートにより約150人が早朝・夜間の利用を、約120人が土曜日の利用の回答がありました。まずは運行エリアの拡大などの検討を進めているところであります。夜間や休日の運行を先行して行う予定には至っておりません。

②料金については「チョイソコひの」が近くの停留所からご希望の目的地に移動できるなど町営バスよりも利便性が高い移動手段であるほか、今後、持続可能な地域公共交通としていくため一定の運賃負担が必要と考えていますが、町民の方から同様の要望をいただいているため、町内における地域公共交通全体の再編の中で研究してまいります。



問

わが町のシンボル綿向山は冬の時期、山頂付近の樹氷を見えるため県内のみならず近隣の他府県からも多くの登山者が訪れ、また年々増加しています。登山用SNSアプリの普及により樹氷のコンディションが良いとみれば、次の休日には3か所の駐車場が満杯となり、地元の方は緊急車両の通行に支障にならないか心配されています。

問 綿向山に急増する冬季の登山者駐車場について

答 工事規制が解除される令和9年にむけ検討を進めていく

マイカー登山者を県道西明寺水口線に導き入れない対応がベストだと考えています。つまり役場駐車場またはブルーメの丘の駐車場からの「パーク＆ライド」方式をとり、登山用臨時バスを休日に運行することを提案します。令和9年からの登山者のスムーズな受入れにむけ当局の見解を伺います。

②昨年ブルーメの丘から運行した臨時バスの利用者は行きが6便90人で帰りは7便88人でした。周辺の混雑回避に一定の効果がありません。

③パーク＆ライド方式は駐車場対策に有効ですが、バスの借上げ経費の捻出や天気による利用者の変動があり引き続き検討してまいります。

答

綿向山は登山道が整備されていることや山頂からの眺望、特に冬季は樹氷が綺麗なことから県内外から大勢の方が訪れています。

①観光入込客統計によると令和5年の1月から12月に9,250人で、うち1月と2月に計4,500人程度



③私はこの冬季の駐車場不足の解決には駐車場設備の拡充、拡大ではなく、

問 日野町社会教育における課題は？

答 社会の変化に対応して事業の見直しが必要



の や たかゆき
野矢 貴之 議員



▲社会教育においても実施されていれば
どんどん改善していくPDCAサイクル

問

近年、どの分野
においても担い手

答

(生涯学習課長)
フォーラムでの

不足などのまちづくりの課題解決が叫ばれている。しかし、社会教育機関がまちづくりに二の足を踏んでいる間に、別部署が課題解決に参入してきた。総務省、農水省、厚労省がそれぞれ予算をつけている。社会教育部署が無くなった市町もある。

先日開催の日野町社会教育フォーラムは何かに反映され実施されるのか？日野町社会教育が消えてしまわないように、教育機関ならではの課題設定と研修とアクションプランをつくる必要があるのではないか？

先日開催の日野町社会教育フォーラムは何かに反映され実施されるのか？日野町社会教育が消えてしまわないように、教育機関ならではの課題設定と研修とアクションプランをつくる必要があるのではないか？

問

自己実現のために行政には何ができる？

答 サポート体制の充実を図る必要がある

問

日野町地域おこし協力隊(以下隊員)の活動は「移住定住・関係人口創出」ミッションが半分であるが、明確な役割分担がないまま成果を依存し評価するのは隊員に酷だ。プロジェクトへの行政の体制は？

答

(企画振興課)
行政として隊員

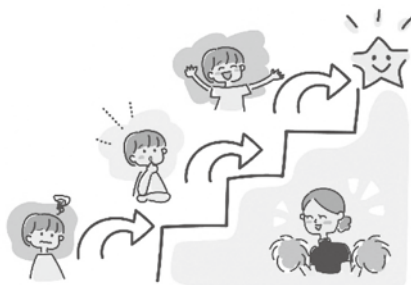
(町長) 隊員サポートの協議会が滋賀県で設立されたので連携したい。

隊員活動の残り半分は自身の定住活動なので自己実現ともいえる。隊員の自己実現をサポートできなければ、日野町住民の自己実現をサポートすることは到底できない。現状の日野町には、住民の誰もが自己実現をしやすくなるようなサポートの仕組みがないように思うが、行政にできる支援体制は？幸福度を高めることや自己実現のしやすさを大きく左右するのは、職員を含む教育の仕組みなのではないか？

には、移住定住で建設計画課と連携や移住フェアに同行などは、してもらっていない。空き家のリノベーションを通じて日野町住民が主体的に空き家活用をする広がり期待している。行政は隊員からの企画と一緒に考え、町内関係者へ橋渡しをしようとしている。しかし隊員の自己実現のサポートを高いレベルでできる人がいない。隊員が1人で抱え込まないサポート体制の充実を図る必要があると考えている。

(総務課長) ヒューマンスキルの研修は充分ではない。これからは職員にもコーチングやプレゼンなどの人をやる気にさせるような仕掛ける力が必要になると思う。

▲目標達成や自己実現を促すコーチング



問 わたむき自動車プロジェクト（その7）
通勤バス実証実験の中止をどう総括するか

答 今後はワーキンググループなどで共有し、研究する



かとう かずゆき
加藤 和幸 議員



問 通勤バス実証実験の本年度中止が発表されました。プロジェクトの根幹部分が振り出しに戻るといふ大変な事態です。

①町長はどう受けとめておられますか。

②経緯を科学的合理的に分析し、総括されたい。

③プロジェクト全体に占めるバス実証実験経費の割合を伺います。

④路線バス化断念で今後通勤対策（渋滞、CO₂の削減等）はどうなりますか。

⑤「チョイソコ」は今概ね好評ですが、午前の利用者の重なり、町外利用の帰路の扱い、目的停留所位置の柔軟性、利用エリアの拡大など多くの課題があります。根本的には相乗りの奨励、必要台数確保、運行時間・曜日・町内全域への拡大をどうしていくのか伺います。

答 ①一定の利用者が見込めず、渋滞緩和などの実験ができな

和などの実験ができな

ったことは残念でならない。

②得られた知見を整理し、通勤バスワーキンググループにおいて取りまとめを行う予定。

③決算見込み3520万円余。事業全体の約27%になる。

④引き続き通勤バスワーキンググループなどで共有し、研究していく。

⑤午後利用の呼びかけ、予約時間設定の見直し、町外施設利用者に丁寧な案内などを予定。停留所位置は変更可能。運行エリアの見直しについては、地域公共交通全体の再編の中で検討したい。頂いた意見も踏まえ研究、あわせて利用者への周知に努めたい。



問 教員の長時間労働と教員不足をどうするか

問 県に財政支援の継続を要望、ハード面の整備

2 文科省の資料は信じがたい数字だが、町内の小学校でも、朝職員室を出て給食、掃除指導など夕方まで戻らない先生もおり、と聞きましました。

産休・育休の代替教員も現場で校長先生が百人、二百人と電話依頼しても見つからないことも。残業時間は60年前の15倍以上（表2）だが、「給特法」で残業手当は出ない。教員養成系大学が敬遠され、教員志望者が減。教員不足は深刻です。

①学校現場に求めたい努力は何か。

②町教委はどうすべきか。

③保護者のみなさんや地域にお願いしたいことは何か。

答 ①業務を見直し、様々な事務の一元化による作業時間の短縮などで現場とともに努力したい。そのことが充実した授業や楽しい学校づくりにつながる。

②県や国からの文書事務などの精査、学校現場への負担軽減。県に財政支援の継続を要望。留守番電話、校務支援ソフトの導入などハード面の整備。

③学校と家庭、地域が連携して取り組むことが大切。地域学校協働活動への参画。

表1 教員の勤務時間

	平日	土日	週あたり勤務時間	平日の休憩時間
小学校教諭	11時間23分	1時間12分	59時間19分	1日 5分
中学校教諭	11時間33分	3時間07分	63時間59分	1日 7分
高校教諭	10時間36分	3時間00分	59時間00分	1日24分

（出典：文部科学省「全国教員勤務実態調査」（2022年実施）より）

表2 1週間あたりの残業時間の変化

	1966年	2022年
小学校	1時間20分	21時間34分
中学校	2時間30分	29時間41分

（出典：表1と同じ、ただし1966年は文部省による推計値）



問 町総合計画と 町長のマニフェストから見る新年度予算編成

答 子ども施策など3つの柱を重点にしっかり取り組む



ごとう ゆう き
後藤 勇樹 議員



問

令和6年度当初
予算が提示されま

したが、実施中の第6次
日野町総合計画（R3年
度～R12年度）との関連、
堀江町長の目指す日野町
の姿、課題について伺い
ます。

答

（町長・関連課）

令和6年度予算
では町総合計画推進に向
け、各事業を横断的に取
り組み、大きくは次の三
点を柱としている。

第一に子ども施策の充
実。具体的には、こども園
新設に向けた検討、保育
士等奨学金返還支援補助
金の創設、子育て応援、地
域おでかけスタンパリア
ーの実施、桜谷学童保育
所さくらんぼの保育室拡
張工事、中学校不登校対
応支援員の増員、フリー
スクール利用助成の引き
上げ、高校生等の医療費
完全無償化、在宅子育て
層の幼児一時預かり実施
等がそれである。

第二に既存事業の着実

な推進。「チョイソコひ
の」の本格運行などで誰
もが利用しやすい公共交
通を実現する。

第三に町民生活の更な
る支援を目指し、一般家
庭の水道料金を4月以降、
約2割引き下げる。

前回の町長選出馬時に
掲げたマニフェストの主
要11項目については修正
などを行っておらず、概
ね達成もしくは着手でき
た。

少子高齢化、人口減少
社会という課題に向けた
新たな目標としては少子
化に歯止めをかけること
、自治会等のコミュニティ
の再活性化に力を注ぎた
い。



子ども・子育て施策は町政の最重要課題

問 名神名阪連絡道路計画の課題と見通しを問う

答 地域や団体、県と協力し、積極的に要望活動に取り組む

問

名神名阪連絡道
路計画は昨年4月

に全線が重要物流道路計
画区間に指定されて以来、
進捗が見えてきませんが、
現状や進捗、今後の課題、
見通しについて伺います。

答

（町長・建設計画課）

本道路計画は滋
賀県と三重県両県で進め
られており、これまで有
識者会議、住民意見聴取
やオープンハウス、住民
説明会等を行ってきた。

県からは事業スキーム
（枠組み）に関する国との
調整に時間を要している
との報告を受けている。
昨年11月には、日野町か
らは質問者議員も会員と
なっておられる通り、地
元国会議員が発起人とな
り名神名阪連絡道路建設
促進議員連盟も設立され
た。

本計画には莫大な事業

費が必要となることから
事業主体もまだ決まっ
ていない。このような現
状を鑑み、名神名阪連絡
道路整備促進期成同盟会
の副会長を務める堀江町
長も、積極的に要望活動
に取り組むとともに、今
後に向けて滋賀県と町で
意見交換をしているところ
である。

町としては住民の意見
を丁寧聞き、慎重にル
ートを決定するとともに
積極的に取り組んでいく。



名神名阪連絡道路は名阪国道上柘植IC～
名神八日市IC付近を結ぶ約30kmの道路計画です

問 少子高齢化による字内役員の選出難題について

答 地域の運営の在り方を研究し、後押しできる仕組みを検討



にしざわ まさはる
西澤 正治 議員



問

第6次日野町総
合計画には「時代

の変化に対応しだれもが
輝きともに創るまち日
野」とあります。

高齢化が進み人口減少
に拍車がかかっている今
日、当字内において、公民
館実行委員の選出に館長
を中心に改革を行い人員
の削減が図られました。

しかし字内では農業関
係や福祉関係、女性部部
会、消防、寺社と多くの役
職があり一人で数多くの
役職を兼任しています。

令和5年度から字内の
区長経験者6名で「むら
を良くする会」を立ち上
げ、字内全世帯18才以上
の方にアンケートを取っ
ていただき、回収率80%
の回答を得て、将来に向
けての関心が高いことが
伺い知る結果となりまし
た。

いつまでも住みたい、
住み続けたい村を創り上
げる改善策の検討課題を
見いだし、改善を図って
いくとしてアンケート内

容から伺いました。

①組織が多くてそれに伴
い役職が多く業務も多い。
仕事をしている現役世代
にしてみれば負担に思う。
若い人に住み続けてもら
うには思いきった改革を
するべきでは。

②区長会、農業組合など
は夕刻により会議を開催
されている。その他の行
政的な事柄は平日会議を
概ね行われているが考慮
してもらえないか。

③様々な募金があり、任
意ではあるが組長さんが
集金に来られると断るわ
けにはいけない。集金方
法を考えて欲しい。

答

①日本全体が構造
的に人口減少社会
となっている中、当町に
おきましても若者の流出
や出生数の減少などによ
り、地域の担い手が減少
し、今まで継続されてき
た字単位で活動を進める
ことが難しくなっている
と認識している。

時代の変化や雇用形態

の変化に対応した地域組
織の在り方や会議の持ち
方について改善すること
が必要であると考ええる。
町としても、地域づく
りの情報提供や話し合い
の場の提供など、これか
らの地域運営の在り方に
ついて研究し、地域のみ
なさんを後押しできる仕
組みを検討していきたい。

②会議の開催時間につい
ては、会議に参加いただく
委員のみなさんのご都合
やご意見を伺う中で、会議
の持ち方について柔軟な
対応に努めたい。

③募金や協力金について
は、あくまでも任意でお
願いしているもので、自
治会によっては袋のみを
配布し、協力いただける
方は組長さんや自治会長
さんのお宅にお持ちくだ
さいというような集め方
をされている字もある。
各自治会等で、集めや
すい方法でお願いできれ
ばと考えている。

住民の皆さまの声をお聴かせください

①議員相談室を設置しました

住民の皆さまの声を聴くための場として、議員相談室を役場4階に
設置しました。



議員相談室

②出前懇談会を実施します

日野町議会の議員がお伺いして、町政に関する課題等についてご意
見をお聴きします。

町内に在住又は勤務されている人で構成する概ね5人以上の団体が対象となります。
申込み等、詳細は日野町議会ホームページをご覧ください。





町 長 提 出 議 案	結 果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
日野町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
日野町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例および日野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
日野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
日野町営住宅の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
日野町上水道給水条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
日野町上水道給水条例および日野町布設工事監督者の配置および資格ならびに水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
日野町税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和 5 年度 補正 予算（ 7 議案）														
一般会計（第 8 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
国民健康保険特別会計（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
介護保険特別会計（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
後期高齢者医療特別会計（第 2 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
水道事業会計（第 2 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
下水道事業会計（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
一般会計（第 9 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和 6 年度 当初 予算（ 7 議案）														
一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
西山財産区会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和 6 年度 補正 予算（ 1 議案）														
一般会計（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

議 員 提 出 議 案	
選 挙（ 1 件）	
日野町選挙管理委員および同補充員の選挙 指名推選による選挙	
日野町選挙管理委員 小西廣氏（下駒月）、堀井孝郎氏（小野）、蒲生行正氏（音羽）、山田人志氏（大窪）	
日野町選挙管理委員補充員 石岡英明氏（大窪）、久村重次氏（十禅師）、川原幸司氏（安部居）、岡正基氏（鎌掛）	

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

第1回臨時会（2月5日）

町長提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
財産の取得（1議案）														
町立小学校教員用指導書 ◎取得の金額 1,165万4,500円 ◎取得の相手方 株式会社石岡教文堂 代表取締役 石岡英明	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
令和5年度補正予算（2議案）														
一般会計（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
下水道事業会計（第2号）	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/

議員提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
付帯決議（1件）														
議第3号令和5年度日野町下水道事業会計補正予算（第2号）に対する付帯決議	決議	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/

第2回定例会（3月1日～22日）

町長提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
人事（7議案）														
日野町教育委員会教育長の任命 安田寛次氏（松尾）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町公平委員会委員の選任 長束晶氏（中之郷）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱（5議案） 伊藤慧氏（大津市）、石塚武志氏（京都市）、本多滝夫氏（大津市）、野口秀雄氏（増田）、藤澤隆氏（清田）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
条例の制定・一部改正（13議案）														
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町行政手続条例および日野町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町使用料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

議員のうごき

(令和6年1月1日～3月31日)

公 務 名		場 所	期 間	出 席 議 員
令和6年能登半島地震 緊急支援物資搬送壮行会	その他	日野町役場	1月3日	議長、副議長、福永、松田、 柚木、後藤、西澤
新年あいさつの会	式典	わたむきホール虹	1月4日	議長、副議長、福永、谷口、 松田、柚木、川東、野矢、山本、 高橋、後藤、西澤
議員OBとの新春懇談会	懇談会	ビジネスグリーンホテル日野	1月4日	議長、副議長、福永、谷口、 松田、柚木、川東、山本、高橋、 後藤、西澤
滋賀県消防協会日野支部消防出初式	来賓	日野公民館	1月7日	議長、副議長 総務常任委員長
市町村議会議員研修「自治体財政の 見方～健全化判断比率を中心に～」	研修	全国市町村国際文化研修所	1月10日 ～11日	加藤、後藤
令和6年能登半島地震 被災地支援職員派遣壮行会	その他	日野町役場	1月15日	議長、副議長、福永、松田、 柚木、山本、加藤、後藤、西澤
日野小学校6年生による 「まちの幸福論」プレゼンテーション	その他	日野小学校	1月18日	副議長、福永、谷口、松田、 柚木、川東、野矢、山本、高橋、 西澤
市町村議会議員特別セミナー	研修	全国市町村国際文化研修所	1月22日 ～23日	福永、野矢
桜谷小学校6年生「桜谷の未来について」 提案発表および議場見学	その他	日野町役場	1月25日	議員全員
農業委員会との懇談会	懇談会	日野町役場	1月25日	副議長、福永、谷口、松田、 柚木、川東、野矢、山本、高橋、 加藤、後藤、西澤
日野町スポーツ協会との意見交換会	懇談会	防災センター研修室	1月29日	総務常任委員
2024「北方領土の日」県民のつどい	構成員	ピアザ淡海	2月8日	副議長、各常任委員長
日野町国際親善協会理事会	構成員	林業センター	2月13日	総務常任委員長
日野町地域おこし協力隊活動報告会	その他	林業センター	2月16日	議員全員
日野町防災学習会	研修	日野公民館	2月24日	山本、後藤、中西、西澤
日野町消防団分団別火災防御訓練	来賓	町内	3月3日	議長、副議長、松田、川東、 後藤
町立小学校卒業式	来賓	各町立小学校	3月18日	各小学校区議員
株式会社ヒロセ寄贈遊具お披露目式	式典	松尾公園	3月23日	福永、谷口、高橋、加藤、西澤
地域のつながりを生かしたまちづくり 事業における研修企画 「～地域の資産循環を考える～」	研修	林業センター	3月25日	柚木、野矢、山本、高橋、加藤
第75回滋賀県町村議会議長会定期総会	構成員	滋賀県農業教育情報センター	3月27日	議長、副議長、西澤
町議会議長、副議長研修会	研修	滋賀県農業教育情報センター	3月27日	議長、副議長、西澤
蒲生郡町村議会議長会会計監査	構成員	滋賀県農業教育情報センター	3月27日	副議長

その他 通常公務として日野町議会定例会・臨時会
一部事務組合 東近江行政組合議会／八日市布引ライフ組合議会／中部清掃組合議会
議長公務 25件 などがあります。

個人情報保護制度の令和5年度運用状況をお知らせします

- 個人情報ファイル簿 2件
- 個人情報(自己情報)の開示請求等 0件

西澤正治議員(鎌掛) 全国町村議会議長会自治功労者表彰

西澤議員は日野町議会議員として15年以上在職し、長きにわたり議会活動を通じて地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることが認められ、全国町村議会議長会から自治功労者表彰を受章しました。

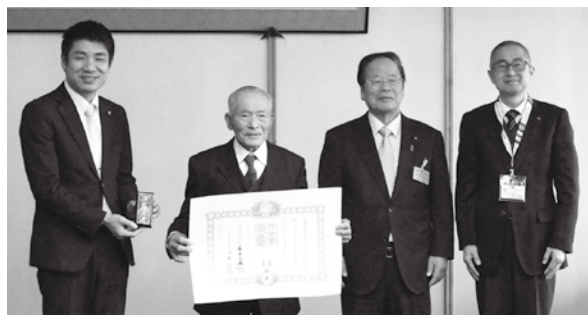
3月27日の滋賀県町村議会議長会定期総会において表彰状が伝達されました。



元日野町議会議員 荒川武雄氏(川原) 高齢者叙勲(旭日単光章)

荒川氏は日野町議会議員として5期20年間の長きにわたり、地域住民の生活、福祉の充実と町勢の伸長発展に貢献された功績が認められ、旭日単光章を受章されました。

2月6日に役場で伝達式が執り行われました。



議長 コラム



議長 杉浦 和人
住民に
寄り添った
政治を

元日に発生した能登半島地震は被災地の日常を奪い、多くの方々は今もなお不安の中におられます。そのような状況で私たちに求められるのは弱い立場に置かれた人々に寄り添い、支えることであると確信しております。

住民の皆様の中には応援のため「ふるさと納税制度」を活用し、被災地支援にご協力くださる方も多く、日野町からは約600万円を関係自治体にお送りすることができました。ご協力頂いた皆様に敬意を表すると共に、被災された方が一日も早く元の生活に戻れますよう願っています。

このような状況でも国会では政治とカネの問題が大きく取り上げられ、被災地支援に関する審議はないがしろになっています。皆様の気持ちに応え支援の舵を取るべきは他ならぬ政治であります。被災された能登半島の関係市町の復興支援が最優先になされることを強く求めます。

町内においても政治の役割は一層重要になってきています。人口減少、少子高齢化は予想を上回るスピードで進行しており、限界集落の増加も避けられません。厳しい財源の中ではコスト的な議論が勢いづくことも考えられます。その度に「住民福祉とはなんぞや」との大原則に立ち返って、目先のコストより住民生活を第一に、より一層福祉充実の町になるよう努めます。

6月定例会(本会議)のお知らせ(予定)

6月3日(開会・提案説明) ・13日(質疑・一般質問)
14日(一般質問) ・25日(採決・閉会)

「議会だより」へのご意見を
お寄せください



皆さまから頂いたご意見を反映し、分かりやすく・読まれる議会だよりにしていきます。

二次元コードを読み取り入力してください。また、メールや手紙、ハガキ等でもご意見を受け付けています。宛先は、裏表紙の下をご覧ください。

編集後記

議会広報常任委員会
の任期は2年で計8回
発行と考えますと、今
号で4回目となり、折り返し地点となります。

発行までは各号計4回の会議があり、それぞれ2時間半〜3時間ほど要し、「住民のみなさまと議会をつなぐ広報誌」を念頭に置き、「この書き方で伝わるのか」「読みやすいのか」「興味を持ってもらえるのか」といったことを中心に、表紙のレイアウトから裏表紙の構成まで全ページに対して議論を交わし、作り上げています。最後は二人一組になり担当している数ページを読み合わせ、誤字や表現方法の最終確認を丁寧に行います。

ときには意見が分かれる場合もありますが各委員真剣に取り組んでいます。毎回少しずつ改良していきますが、町民の皆さまの意見もどんどん取り入れていきたいのでご感想やご要望を聞かせて頂けると嬉しいです。

谷口 智哉

議員公務の一部を 紹介するにゃん



まちの幸福論

発表



1月18日に日野小学校において6年生の児童が、1月25日には桜谷小学校6年生の児童が、議場で「まちの幸福論」について私たち議員にプレゼンテーションをしてくれました。発表内容は日野町の良いところを伸ばしていくアイデアや、現状の課題を解決する案や防災についてなどの提案でした。活発な提案に驚いたり、感心させられました。今後のまちづくりに生かしたいです。

懇談会 各団体との懇談会を実施

日野町議会では住民の皆さまのご意見を行政に反映させる目的から議会の委員会ごとに意見交換を積極的に行っています。産業建設常任委員会では1月25日に議員全員が農業委員会との懇談会を行いました。また総務常任委員会では1月29日に日野町スポーツ協会と意見交換会を実施しました。

お聴きしました皆さまの声を、議会活動に反映してまいります。



2024「北方領土の日」 県民のつどい

式典



2月8日に、ピアザ淡海にて開催された「北方領土の日」県民のつどいに参加しました。

「私たちと北方領土作文コンクール」の発表や講演会、視察報告等が行われました。

北方領土問題について、共感と理解が深まったつどいとなりました。

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行／日野町議会 ◆編集／議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp



「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・メールまたは議会事務局までご持参願います。